

薬の安全な「飲み方」 「やめ方」教えます

「週刊現代」が「医者に出されても飲み続けてはいけない薬」などと、七号連続で薬批判を続けている。しかし、勝手に薬をやめると健康に重大な影響を及ぼしたり、命を脅かしたりするケースさえある。本当に安全な薬との付き合い方を識者たちに解説してもらった。

頸動脈をエコーで検査して

「スタチンに、心筋梗塞を三割減らすエビデンス（科学的根拠）があるのは事実です。とはいえ、日本人は心筋梗塞が少ないので、薬の恩恵を受ける人は欧米人 compared to 比べ多くありません。糖尿病の人や過去に心筋梗塞

病などの危険因子がなければ、動脈硬化にならない人が多いんです。ですから、このような方は、LDL値が高いというだけで、スタチンを飲む必要はないと思います」

ただし、佐久間医師はコレステロール値が低くても、危険因子のある人は、スタチンを飲んだほうがいいという考えだ。

「逆にコレステロール値が低くても、心筋梗塞を起こす人がいます。実際に、心筋梗塞で入院する人のLDLの平均値は110〜150mg/dlです。したがって、動脈硬化が進んでいる人は、スタチンを飲んだほうがいい。それを調べるには、頸動脈をエコーで検査して、

どれぐらい狭くなっているかを見る必要があります。しかし、この検査をせずに処方している医師も多いのが実情です。ですから、高血圧や糖尿病、心筋梗塞既往などの危険因子がない人は、頸動脈のエコーをしてもらってから、スタチンをやめるかどうか判断するといいでしょう」（同前）

なお、スタチンには筋肉が溶ける「横紋筋融解症」の副作用がある。重篤になると腎不全や肝不全を起こす危険があり、米国での調査によるとその発生頻度は一万人のうち八人ほどで、死者は百万人のうち0.15人と計算されている。

このように非常にまれなので心配すぎる必要はないが、スタチンには糖尿病を発症するリスクもある。したがって、危険因子がないなら、飲まないに越したことはないだろう。それにスタチンは急にやめても、あまり問題はないという医師が多い。

もし高血圧、糖尿病の薬と一緒にスタチンを飲んでいて、薬を減らしたいと思うなら、スタチンからやめるのがいいだろう。もちろん、これも医師に相談しながら行ってほしい。

2016.7.28
週刊文春

を起こしたことがある人以外は、あまり飲む意味はないと思います」
また、女性は閉経前後に女性ホルモン（エストロゲン）が減少する影響で、LDLが高くなる。そのため、スタチンを飲む人が増えるのだが、この中には必要でない人が多いとも指摘されている。動脈硬化に詳しい北光記念クリニック所長の佐久間一郎医師もこう話す。「女性はLDLの値が200〇あったって、高血圧や糖尿